

4. 住宅建設

住宅建設は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として低い水準にある。

(戸数は季調済年率、()内は季調済前期(月)比、%)

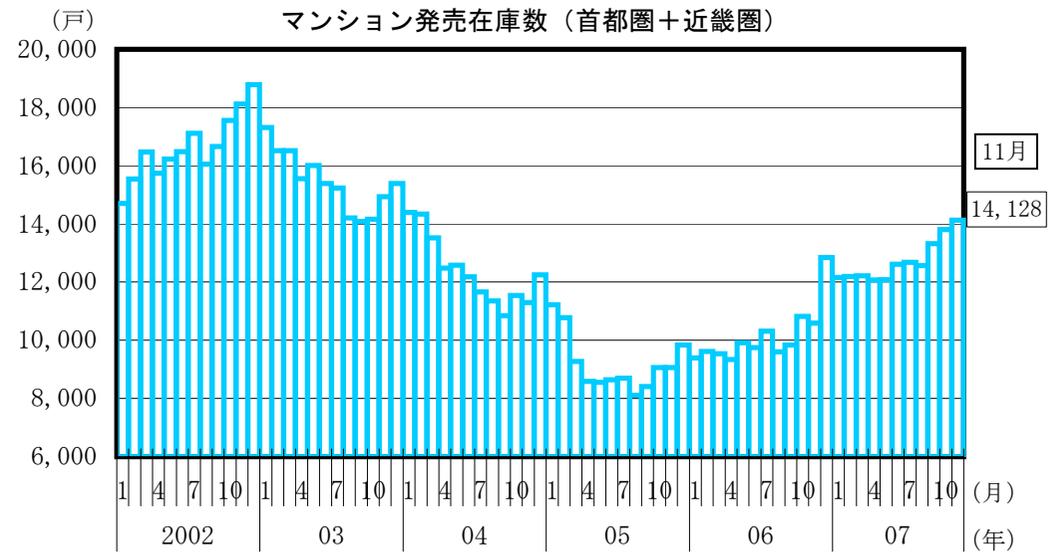
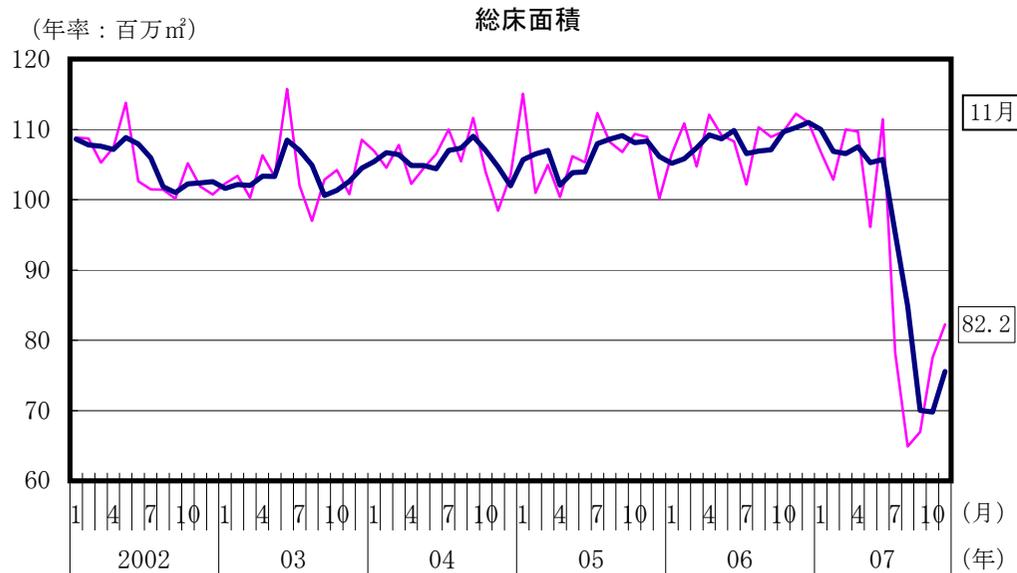
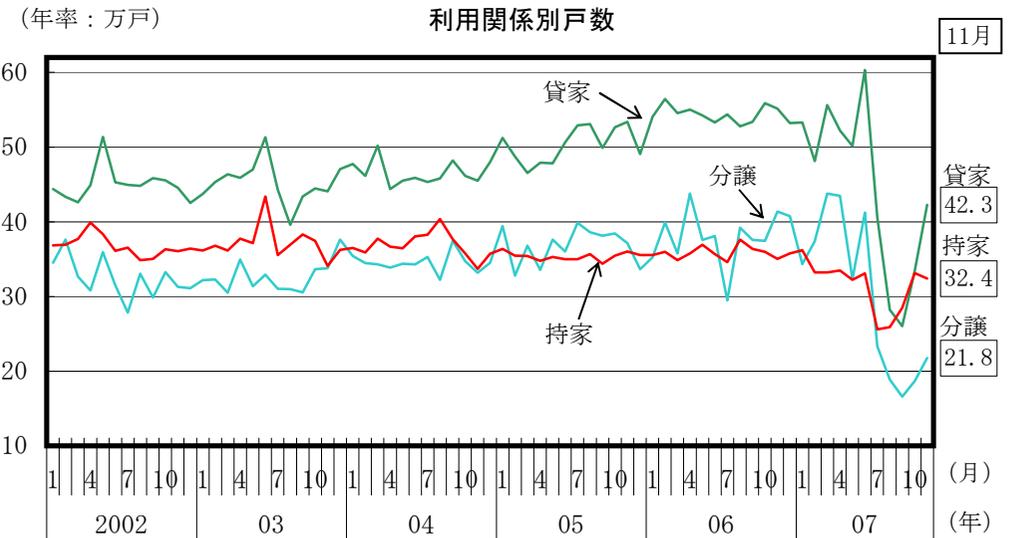
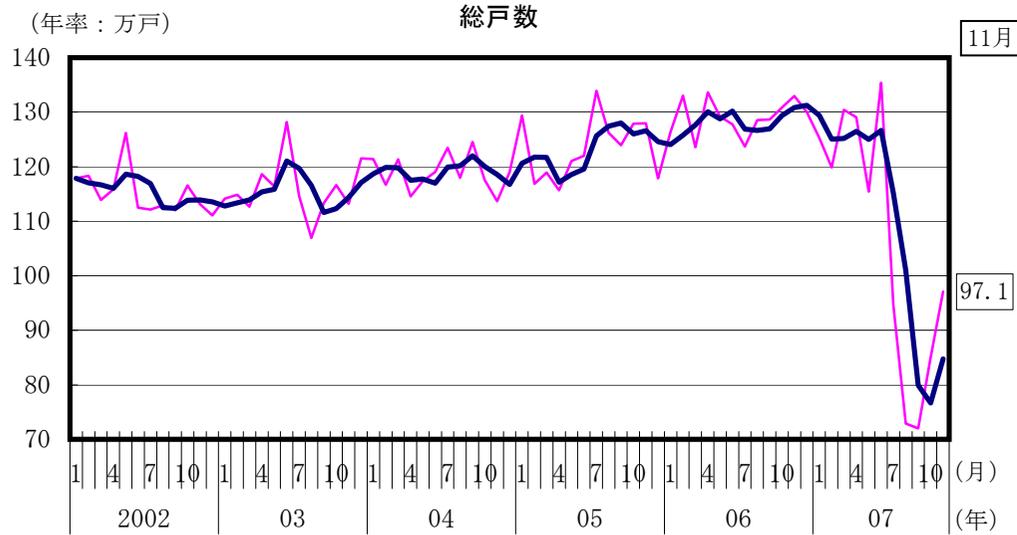
	2005年度	2006年度	07年4-6月	7-9月	07年9月	10月	11月
新設住宅着工戸数 (万戸)	124.9	128.5	127.0	79.3	72.0	85.1	97.1
(前期比)			(2.0)	(▲37.6)	(▲1.2)	(18.1)	(14.1)
(前年比)	4.7	2.9	▲2.6	▲37.1	▲44.0	▲35.0	▲27.0
建築主が民間 (前期比)			(0.4)	(▲37.4)	(▲1.8)	(19.2)	(15.2)
(前年比)	4.9	3.2	▲3.7	▲37.1	▲44.1	▲34.9	▲25.9
持家 (前期比)			(▲3.6)	(▲18.0)	(10.1)	(16.4)	(▲2.3)
(前年比)	▲4.0	0.9	▲8.8	▲26.3	▲21.6	▲8.0	▲7.6
住宅金融機構持家 (前期比)			(▲9.5)	(▲14.9)	(5.1)	(21.9)	(▲13.0)
(前年比)	▲34.1	▲30.7	▲41.6	▲46.2	▲39.8	▲21.1	▲28.2
貸家 (前期比)			(5.7)	(▲42.0)	(▲7.8)	(28.5)	(26.4)
(前年比)	10.8	3.9	0.3	▲41.0	▲51.3	▲40.2	▲23.4
分譲 (前期比)			(1.2)	(▲46.7)	(▲11.9)	(12.5)	(16.5)
(前年比)	6.1	3.3	▲2.0	▲44.1	▲55.6	▲50.2	▲47.4
戸建・長屋建 (前期比)			(▲4.5)	(▲23.3)	(23.2)	(11.0)	(▲2.5)
(前年比)	▲1.3	0.8	▲2.7	▲26.6	▲19.5	▲9.5	▲15.2
共同建て (前期比)			(7.4)	(▲61.5)	(▲33.1)	(17.2)	(40.2)
(前年比)	11.0	4.8	▲1.6	▲55.3	▲74.8	▲70.4	▲63.8
着工床面積 (前期比)			(▲0.1)	(▲33.3)	(3.2)	(15.8)	(6.0)
(前年比)	1.1	1.9	▲3.7	▲34.5	▲38.4	▲29.4	▲26.7
建築主が民間 (前期比)			(▲1.3)	(▲33.2)	(2.3)	(17.0)	(6.0)
(前年比)	1.2	2.1	▲4.5	▲34.5	▲38.6	▲29.2	▲25.8
工事費予定額平米単価 (万円)	16.1	16.3	16.6	16.6	16.4	16.5	16.6
(前年比)	0.1	1.2	2.5	1.9	0.4	2.0	2.4

(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

なお、「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。

また、「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

住宅着工戸数、床面積（季節調整値）の推移



(備考) 国土交通省「建築着工統計」、(株)不動産経済研究所資料により作成。
太線は後方3ヶ月移動平均、細線は単月値である。